平成27年度 議会意見交換会意見・要望等に対する回答一覧表（迫町）

平成28年1月28日現在

分野	意見・要望等の内容	回答者の区分	回　答
①議会運営、議員	登米市議会の改革度ランキングが上位なのはなぜか。	議会	通年議会や意見交換会など総合的に評価されたと考えています。
③庁舎建設	新庁舎建設の住民アンケートを是非してほしい。	議会	担当部署の総務部総務課へ伝えました。 また、現在特別委員会において検討しています。
	現在の分庁舎を活用すれば、新庁舎は必要ないのではないか。		
	現在の迫市街地への建設が決まったのか。		
	新庁舎を建設するのであれば、複合施設で駐車場を広くして。		
	新庁舎建設諮問委員会のメンバーに建設に関係があるNPOの人が二人いるが、今後そのようなことはやめてもらいたい。	議会	担当部署の総務部総務課へ伝えました。
⑤コミュニティ、集会施設、公民館	佐沼地区の集会所改築に当たり、もっと補助金を出すべきだ。	議会	集会所建設に当たり市内一律の補助金と決まっています。
⑦公園、公共施設、跡地利用	登米市の遊休地を利用し、太陽光・風力など財源確保をしては。	議会	担当部署の総務部総務課へ伝えました。
⑬災害復旧	大網の災害公営住宅は、24戸で4億9,000万円はかかりすぎでは。	建設部営繕課	担当部署へ伝えたところ、「迫西大網第二住宅、24戸につきましては、共同住宅での建設を進めています。発注にあたっては、市場の価格変動に応じて算定されている国及び宮城県の単価を基準にして設計、積算をしております。」と回答がありました。
⑲企業誘致、雇用	登米市の企業の賃金体系が低いので、意見していくべきでは。	議会	担当部署の産業経済部新産業対策室へ伝えました。
	大企業や優良企業をもっと積極的に誘致すべきだ。		
	企業を誘致するにあたり、大学の力を借りてはどうか。今後、水と先端医療関係の企業が伸びていくと思われる。		
	空き校舎を活用して、企業誘致をしてはどうか。		
	登米町の工業団地整備に1億かける予定だが、何人位の企業か。	産業経済部新産業対策室	担当部署へ伝えたところ、「平成27年度から登米町蛭沢地区（三陸縦貫自動車道登米インターチェンジ周辺）へ、平成30年度末の完成を目指し工業団地の整備事業を進めておりますが、現時点で立地企業が決定している状況ではありません。 団地の規模は平場面積で約3haを予定しており、多くの雇用が創出される企業を積極的に誘致してまいります。」と回答がありました。
	大企業にだけ目を向けるのではなく、零細商店の発展にも傾注すべきだ。	産業経済部新産業対策室	担当部署へ伝えたところ、「中小零細企業、個店が元気になるために、魅力ある個店づくりやにぎわい創出、人材育成などの経営支援施策を進め、個店等の経営の安定と発展を目指してまいります。」と回答がありました。
⑳まちづくり	今後の登米市の将来ビジョンをしっかりと市民に示すべきでは。	企画部企画政策課	担当部署へ伝えたところ、「平成17年度に策定した登米市総合計画の計画期間が、平成27年度で終了するため、平成28年度から37年度までを計画期間とする第二次登米市総合計画を昨年9月に策定し、今後10年のまちづくりの将来ビジョンをお示ししています。 計画の策定に当たっては、タウンミーティングを9町域で2回ずつ開催し、市民の皆様にその内容についてご説明してきたところです。 また、計画の内容については、平成28年1月号の広報とめの中でお知らせするとともに、計画の概要版を市内全世帯に配布いたします。」と回答がありました。
	登米市の観光特区として、登米町を活用しては。	議会	担当部署の産業経済部新産業対策室へ伝えました。
㉑農業振興	登米市産牛をもっとPRすべきではないか。	議会	全国和牛能力共進会が宮城県で2年後にあるので、PRを強く働きかけて行きます。

分野	意見・要望等の内容	回答者の区分	回　答
㉖市営住宅	古い市営住宅の今後のあり方はどうなるのか。	建設部住宅都市整備課	担当部署へ伝えたところ、「市営住宅の維持管理については、長寿命化計画に基づき修繕や環境改善を行うとともに、耐用年数が超過した老朽化住宅は退去後に解体を進めております。 また、建替え等については、住み替えによる家賃の上昇などが問題となりますが、現在見直しを行っている住宅マスタープランに基づき、市の需要戸数に合った住宅戸数の確保に向け検討してまいります。」と回答がありました。
㉗その他	津山町で石山を掘らせているが、採掘権はいくらもらっているか。	産業経済部農林政策課	担当部署へ伝えたところ、「市有林の採掘権ではありませんが、市有林から採取する土石の量に応じて、砕石業者と売買契約を締結しているものであります。」と回答がありました。